平成25年3月末で西鉄バス中山・中間線69番系統（中間行き）が廃止されます

町内の運行経路はほぼ重複 利用者の減少などにより赤字補てん金は年々増加

現在、町内では、西鉄バス（路線バス）が2路線（中山・中間線、西川線）、3系統で運行しています。このうち、直方バスセンターを出発し、鞍手町を通って筑鉄中間までを往復運行する系統（69番系統）が、平成25年3月31日で廃止されます。

鞍手町では、近隣の直方市、中間市、宗像市、遠賀町とともに、平成13年度から西鉄バス路線への赤字補てんを行ってきました。しかしながら、その額は利用者の減少などから年々増加し、最も多かった平成22年度では、約1700万円に。これは町の財政を圧迫する大きな要因にもなっていました。

このようなことから町では、路線バスをはじめ、コミュニティバス、福祉バスなど、地域公共交通のあり方を総合的に検証し、見直すため、平成22年2月、住民や交通事業者、公的機関などの代表者で組織する「鞍手町地域公共交通活性化協議会」を設置。3年間の計画（地域公共交通総合連携計画）を立てて、試験運行を行っています。

この中で、西鉄バス中山・中間線の2系統については、

①町内では69番系統（中間行き）のほとんどの経路が68番系統（遠賀行き）と重複している

②鞍手町・中間市間を利用している人が中山・中間線全体の約4パーセント（平成23年度調査で1日26人）と、ごく少数である

③利用者数から見た69番系統の運行赤字補てん金の割合は、68番系統に比べ著しく大きく、費用対効果が低い

などの理由により、町は平成25年度から69番系統への赤字補てん金の廃止を西鉄バスに申し出ました。

中山・中間線を再編 66番系統（新入経由）を新設し、運行便数を維持

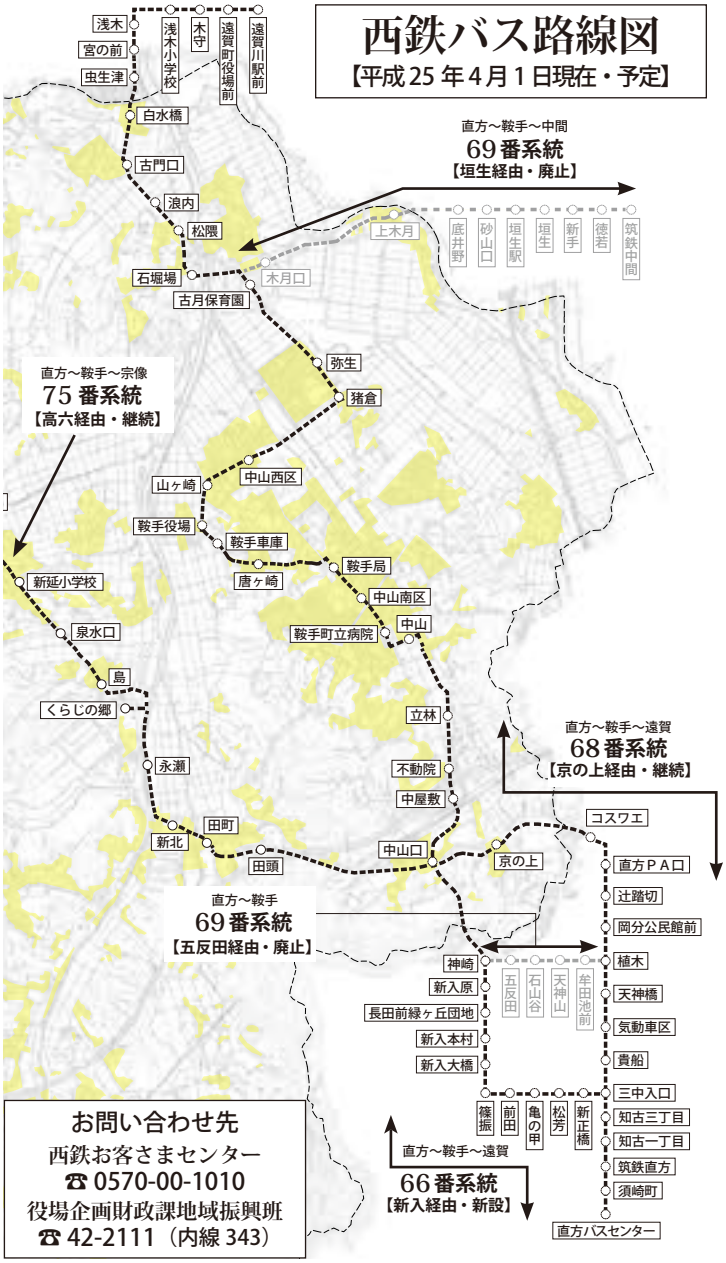
この申し出に対し、県のバス対策協議会や関係市町、西鉄バスと協議を重ねた結果、69番系統の廃止を決定。また、現状の運行台数を維持するため、中山・中間線を再編し、「直方バスセンター～新入～鞍手車庫～遠賀川駅（66番系統）」を新設することになりました。

なお、68番系統「直方バスセンター～京の上～鞍手車庫～遠賀川駅」は、現行のまま運行します（運行時刻は変わります。詳しいことは、バス停留所の掲示板でご確認ください）。

今後、69番系統の廃止により、西鉄バスの木月口バス停、上木月バス停は廃止となります。

これに伴い、町では、昨年10月から「すまいるバスまちなか線」の運行ルートを見直し、木月バス停、上木月バス停を新設しています。鞍手駅へ直接乗り入れる便を運行していますので、ぜひご利用ください。

西鉄バス路線図
【平成25年4月1日現在・予定】



お問い合わせ先
西鉄お客さまセンター
☎0570-00-1010
役場企画財政課地域振興班
☎42-2111（内線343）